

事業所名

横浜市東部地域療育センター
児童発達支援センター

支援プログラム

作成日

2024年

10月

1日

法人（事業所）理念		法人：「道なきところに道を」障害児・者とご家族の地域生活（暮らし）を支援するため、医療と福祉の面から明るい未来を歩むための新しい「道」を創っていきます。 事業所：1. 子どもたちとご家族の暮らしを人間の尊厳をもって受けとめます。 2. 子どもたち個々の発達特性を尊重し、支援技術を磨きます。 3. 子どものライフステージの連続性に応じた療育態勢を築きます。 4. 子どもたちとご家族が地域で自立し安らかに暮らすための「地域療育」に貢献します。		
支援方針		1. こどもの生活・発達を支援する：健康や医療等に配慮し、生活習慣や運動、コミュニケーションなどの発達を支援します。 2. 家族の子育てを支援する：個人面談や勉強会等を通してこどもの様子の理解や具体的な関わり方などを支援します。また就学などの進路について情報共有し、一緒に考えます。 3. 地域での生活を支援する：学校や保育所、幼稚園等との連携や調整をし、引継ぎや巡回訪問などを行います。		
営業時間		8時 45分から 17時 15分まで	送迎実施の有無	一部、通園バスでバスポイントまでの送迎を行っている。
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<input type="checkbox"/> 連絡帳の記載や保護者からの聞き取りなどで健康状態を把握し、健康の維持や促進に努める。また睡眠、食事、排泄などの基本的な生活リズムの形成に向けて支援する。 <input type="checkbox"/> 時間や場所などの環境を整え、食事、排泄、着脱などの基本的な生活スキルの向上や獲得を支援する。支援の際は必要に応じて医師や栄養士、作業療法士、理学療法士などと連携して、口腔機能や食事形態、身体状況や感覚などを評価し支援する。		
	運動・感覚	<input type="checkbox"/> 興味のある活動を通して、日常生活や余暇活動などで必要とされる運動や姿勢の維持、向上を支援する。 <input type="checkbox"/> 保有する運動や感覚を十分活用できるように評価し、遊びや活動の中で支援する。また歩行器や姿勢保持椅子などの補助器具を使用して支援する。 <input type="checkbox"/> 聴覚、触覚、視覚といった感覚の過敏性や鈍麻性などの特性に対して、時間や場所などの環境調整やイヤーマフなどの補助器具などで配慮し、安全で安心な生活を支援する。		
	認知・行動	<input type="checkbox"/> 聴覚、触覚、視覚といった感覚を十分に活用して、物の機能や属性、音の違いや言葉の意味、身体の部位や図式などの認知機能の発達を促す。 <input type="checkbox"/> 認知の特性を踏まえ、時間や場所、人の関わりなどを整理して伝え、適切な行動や表現を支援する。 <input type="checkbox"/> 認知や感覚の偏りなどに起因する困難な行動に対して、その軽減や予防、適切な行動の獲得を支援する。		
	言語 コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 興味のある遊びや活動を通して、コミュニケーションの基礎となる人への意識を育む機会を設けるなど、対人意識の芽生えや相互的なやりとりを支援する。 <input type="checkbox"/> 先生やクラスの友達からの関わりを理解する手段として、言葉や身ぶり、カードや実物、身体を触ったり軽くたたかすなど、こどもに合わせた手段で支援する。 <input type="checkbox"/> 自分の気持ちを相手に伝える表出の手段として、言葉や身ぶり、カードなどのこどもに合わせた手段で支援する。身体や表情の軽微な変化を汲み取り、相互的なやりとりを支援する。		
	人間関係 社会性	<input type="checkbox"/> クラスの友達や職員などとの遊びや活動を通して、アタッチメント（愛着行動）の形成に向けて支援する。 <input type="checkbox"/> 集団活動では時間や場所などの環境を整え、手順やルールなどを視覚的に示すなど、社会性の発達を支援する。また、こども同士で行う共同活動や役割分担などの機会を設ける。 <input type="checkbox"/> 自分の気持ちや情動調整ができるように、時間や場所、人との関係などの環境を調整するとともに職員が適時介在して支援する。		
家族支援		こどもの発達や障害特性について理解を深め具体的な関わり方などを知る機会として、面談、懇談会、参観、勉強会、親子プログラムなどを実施している。またきょうだいにに向けたワークショッププログラムを実施している。	移行支援	保育所や学校等へ移行をする際に、家族の意向を確認しながら、報告書を用いた引継ぎや訪問等による情報共有などで移行を支援する。
地域支援・地域連携		<input type="checkbox"/> 親子通園クラスは家族に確認の上、巡回訪問を実施している。 <input type="checkbox"/> 保育所や学校の職員に向けた施設見学や講義研修を実施している。 <input type="checkbox"/> 保育所や児童発達支援事業所と連携し、支援内容の確認や情報交換を実施している。	職員の質の向上	<input type="checkbox"/> 事業所全体の研修、法人内の療育センター間での情報交換や外部講師を招いた研修を実施している。 <input type="checkbox"/> 新人職員を対象とした講義やOJTを計画し実施している。中堅以降の職員に対しては、施設見学や外部研修を計画し実施している。
主な行事等		(主に週5日通園) 入園のつどい / プール療育 / 夏祭り / 運動会 / お楽しみ会 / 豆まき集会 / 外出プログラム / 親子プログラム / お別れのつどい など		